

若手・中堅社員のための 人間力養成研修

次世代リーダーとしての基盤づくり講座

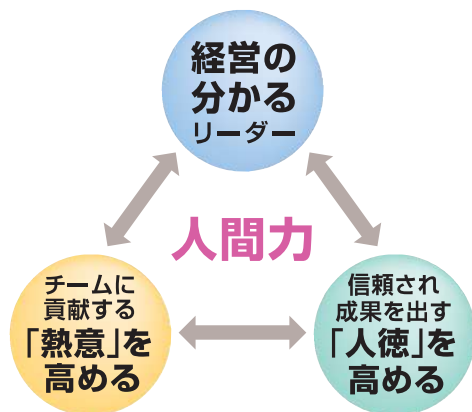
次世代の「経営のわかるリーダー」を目指すためには、「仕事力」に加えて、「人間力」が大切になります。知識やスキルを持ち、仕事ができることは重要ですが、それだけで周囲からの信頼を得る事は難しいと言えるでしょう。人間的な魅力や迫力、底力などの「人間力」があって、初めて真の信頼関係は築かれます。本コースは、「人徳」と「熱意」の2つの要素から「人間力」を学ぶことによる、意識変革・行動変容をねらいとしています。

- 対象：若手・中堅からリーダークラスの方々
- 定員：24名
- 期間：1日間
- 総学習時間：6.5時間
- 開催形式：集合

COURSE CONCEPT

“できる・できた人”になるために

「人間力」を構成する要素（「人徳」と「熱意」）について、自分への深い問いかけの繰り返しにより、具体的な学びをさらに深め、自身の内側にある資源に気づくことで、主体性あるリーダーとなる第一歩を踏み出していただきます。



●ご受講者様の声●

- 熱意の項目が印象に残りました。最近、部署異動し、経験のない仕事が多い中で、目の前のことだけに集中していたので何のために何をやるのかを考えるきっかけになりました。
- 日々仕事に追われ、漫然と仕事をしていましたが、立ち止まって考える時間になりました。心のあり方、考え方で今後の結果が大きく変わると実感しました。
- 人間力を構成する「人徳」「熱意」について具体的に学ぶことができ、今後は一つ一つ掘り下げて考えながら行動出来そうです。

●講師メッセージ●



江口 肇 PHPゼミナール・講師

自らの持つ「人間力」と向き合い、内なる資源を確認すると共に、さらに高めるためのテーマを見つけていただきます。

【特徴】

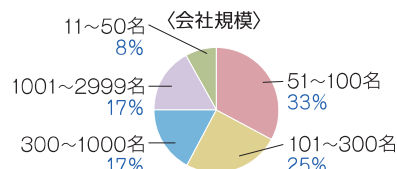
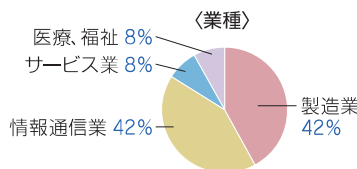
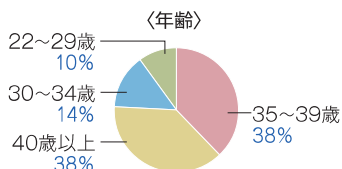
- ①「人間力」を構成する要素について、具体的に学びを深めていきます。
- ②深い問いかけの繰り返しにより、自身の内側にある資源に気づいてもらいます。
- ③グループ討議を通して自らの頭で考え、他者の意見を聞く・自分の考えを述べるという相互研鑽を繰り返し行います。

【研修のゴール】

- ①自分自身の仕事への思いや取り組みなどをしっかりと振り返ることで、経営参画意識を高め、「経営のわかるリーダー」に向けた自己革新を目指します。
- ②「人間力」の構成要素を「人徳」と「熱意」と定め、それを若年時から高めるために受講生自らの課題を明らかにし、明日からの意識変革、行動変容につなげます。



●参加者属性



プログラム

■事前課題『「人間力」を考える』

	テーマ	学習のねらい
9:30	■開講 オリエンテーション／アイスブレイク ●「経営のわかるリーダー」を支える【人間力】 ・経営のわかるリーダーの要点 ・経営のわかるリーダーを支える「人間力」 ・「人間力」を構成する2つの要素 ・自身の「人間力」チェック ●【信頼され成果を出す「人徳」を高めるために】 ・「人徳」あるリーダーの特性・特徴とは（グループ研究） ・「人徳」8つの構成要素：利他の心、素直な心、感謝の心、他 ●【チームに貢献する「熱意」を高めるために】 ・「熱意」あるリーダーの特性・特徴とは（グループ研究） ・「熱意」の源泉と高めかた（使命感、志、リソース） ●【「素直な心」と人間力】 ・「素直な心」とは ・「素直な心」の具体的な内容と効用 ・「人間力」を高めるために ●研修のまとめと決意表明	・自らの仕事観やあるべき姿を振り返ることで仕事へのやりがいや成果意識を高める ・社員稼業という考え方をもとに経営参画意識を醸成し「経営のわかるリーダー」を目指す ・スキル・能力を支える人間力の大切さを認識する ⇒ 【人間力＝人徳＋熱意】 （人徳あるリーダーの特性・特徴とは） ・ロールモデルをイメージし行動・能力・価値観についてグループメンバーで考え合う ・できる（仕事力）・できた人（人間力）を目指す （熱意あるリーダーの特性・特徴とは） ・ロールモデルをイメージし行動・能力・価値観についてグループメンバーで考え合う ・人間力を根底で支える「素直な心」 ・「素直な心」は人間を強く正しく聡明にする ・「人間力」を高めるための要素やキーワード及び12カ条の教えを確認・共有する ・（決意表明）自らの人間力を高めるための取り組みを宣言する
17:00	■ 終了	

（昼食休憩：60分）

■事後課題：研修で設定した課題の職場実践／課題図書「道をひらく」の読了

